

# 渚の環境実態調査 (要 約)

仲村 俊毅・桐原 慎二

この調査は、渚（飛沫帯から水深数mまでの場所）の動植物相を調査し、その現況を把握するとともに、今後の渚域の環境保全を図るための基礎資料を得るため実施されたものである。

なお、本調査は国の新たな雇用・就業機会の創出を目的とした「緊急地域雇用創出特別基金事業」により平成14年度から行われているものであり、平成16年度をもって終了した。

## 調 査 方 法

調査線1ラインについて、飛沫帯、潮間帯、水深2m以浅、水深2～4mの4つに区分し、動物については1m四方枠2枠分、海藻（草）については10%以上の被度が認められる種ごとに25cm四方枠1枠分を採取し、形状測定及び個体数の計数を行った。

## 結 果

平成16年年度の調査は下表に示した4地区で春、秋の2回行い、調査現場での生息（生育）状況や標本写真等を、県のホームページに平成14年度、15年度分と合わせて公表している。

ホームページアドレスは以下のとおり。

<http://www.pref.aomori.jp/suisan/news/toppage030423/index.htm>

表 調査の概要（太平洋海域：春、秋）

調 査 地 名	調査月日	海 岸 の 状 況	動物種数	植物種数
東通村尻屋	5月27日	岩礁、岩盤	18	20
六ヶ所村泊	5月19日	岩礁、岩盤	19	18
八戸市鮫浦	5月30日	岩礁	13	15
階上町小舟渡	6月5日	岩盤、転石	14	19

調 査 地 名	調査月日	海 岸 の 状 況	動物種数	植物種数
東通村尻屋	10月20日	岩礁、岩盤	20	18
六ヶ所村泊	10月9日	岩礁、岩盤	20	15
八戸市鮫浦	9月17日	岩礁	22	17
階上町小舟渡	10月18日	岩盤、転石	18	13